

1 カローリング（ジュニア競技用）

場所	人数	対象年齢	運動強度
屋内	1チーム4人	誰でも可	軽度

特 色

カローリングは、カナダや北欧の国々で親しまれている氷上のスポーツであるカーリングからヒントを得て誕生した、3世代でできる新しいスポーツです。屋内フロアで、ジェットローラをフロアの先端に設けたポイントゾーンを目標に走行させ、相手チームと交互に投球し、ぶつけ合いをして得点を競います。

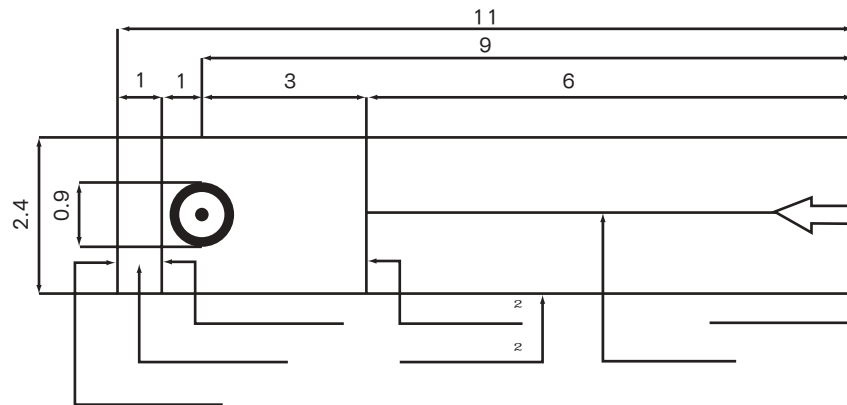
用 具

<ジェットローラ> 重さ2kg、赤4個、黒4個

<ポイントゾーン> 94cm正方形、厚さ0.15mmの特殊合成紙

<スコアカード> 私製

コ ー ト



競技方法

- (1) 1チーム4人で、ジェットローラ4個（同色）を使用します。
- (2) 1試合6イニング制とします。所要時間は約30分間です。先攻、後攻は両チームの主将が、ジャンケンで決め、各イニングにおいて、勝ちチームは、次のイニングで先攻になります。
- (3) 各チームは、ファーストプレイヤー、セカンドプレイヤー、副主将、主将の順序で相手チームの競技者と1個ずつ交互に投球します。投球順序は、途中で変更することはできません。

- (4) 床面に片膝、又は両膝をつき、ジェットローラのハンドル上部に手のひらを軽くあて、2、3回前後に軽く滑らせ目標に向けて押し出すように投球します。中腰姿勢や立ったり、走りながらの投球はすべてアウトです。足が投球ラインを越えるとアウトになります。オンラインはセーフです。投球する際に手がラインを越え、床面に手がついてアウトになりません。
- (5) ポイントゾーンとは、標的となる直径90cmの円形をいい、中心径30cmの赤色を3点、中間径60cmの黄色を2点、外周径90cmの青色を1点とします。ジェットローラがポイントゾーンに停止、又はジェットローラの外周が真上方向から見て、少しでもポイントゾーンに接触していれば得点となります。
- (6) 投球したジェットローラが、ガードライン、サイドラインのライン上、及びラインの接触点上において、停止、又は接触している場合は、すべてアウトとなり、投球チームの競技者により、ジェットローラをただちに除去します。ジェットローラが、バックライン上に停止、又は接触している場合は、セーフです。
- (7) ジェットローラのポイントゾーン及びコートライン上の位置確認や合否の判定及び得点計算は、両チームの副主将で協議して決定します。
- (8) ポイントゾーンの中心点に最も近い位置にジェットローラを停止させたチームが勝ちとなります。この勝ちチームのジェットローラに順次、関係した位置にある勝ちチームのジェットローラはすべて得点の対象となり規定の得点が加算されます。この場合、中心に最も近いチームのジェットローラが1個存在し、次に相手チームのジェットローラが、中心から2番目にあり、次に勝ちチームのジェットローラが3番目に近接している場合は、2番目の相手チームのジェットローラが3番目の勝ちチームのジェットローラを遮断しているため、中心に最も近いチームの1個のジェットローラのみが得点となります。
- (9) 両チームのジェットローラがポイントゾーン上に存在しない場合は、両チームの得点は0点になり、次のイニングへ移行します。先攻の順序は同じで競技を進めます。
- (10) 競技が終了し、得点の多いチームが勝ちとなります。両チームの合計得点が同点の場合は、6イニングの得点チームが勝ちとなります。6イニングの得点が両チーム0点の場合は、順次5、4、3、2、1イニングの得点チームが勝ちとなります。
- (11) スコアカードの記入は、上段に味方チーム名、下段に相手チーム名を記入します。各イニングにおいて先攻チームは左隅上覧に▼印マークをします。

チーム 回数	1	2	3	4	5	6	合計
A	▼0	5	3	0	0	5	13
B	3	▼0	0	0	8	0	11

